

「もっと安心農産物」ダイコン(トンネル春どり)栽培暦

J Aいちかわ 船橋大根共販協議会 船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1. 土作り

完熟堆肥を施用する。(1,500kg)堆肥の補助資材としてアヅミンを使用する。

2. 施肥 土壌診断にもとづく施肥量の遵守(化成肥料由来の窒素成分量7.5kg/10a以内)

	肥料名	保証成分(%)	施肥量
基肥	①スーパーマイルド086	10-8-6(有機態N6.1%)	140kg/10a
	②スーパーMMB有機	10-12-10(有機態N2.1%)	94kg/10a
	有機アグレット673特号	6-7-3(有機態N6.0%)	80kg/10a
	マルチサポート1号	水溶性苦土15% マンガン0.5% ホウ素0.2%	40kg/10a
	苦土重焼燐	0-35-0 苦土4.5	40kg/10a
	苦土セルカ2号	(カキ殻100%の有機石灰)	60kg/10a

※ 有機アグレット673特号は、①または②の施肥で窒素量が不足の場合施用する。

3. 防除 農薬使用成分回数は4回までです。下記の防除暦薬剤から選択する。

(ス^レノエス顆粒水和剤、ゼンターリ顆粒水和剤、Zボルドーは化学合成農薬に含まれない。)

(薬剤名後()内数字は、化学合成農薬成分数を示す。)

月	管理作業	病害虫に発生	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)		
12月中旬	↑ 播種 ↓					黒班細菌病・軟腐病の発生が予想される場合、Zボルドー水和剤(0)500倍を散布する。 コナガの発生が確認されたら発生初期にBT剤のエスマルクDF(0)・ゼンターリ顆粒水和剤(0)1,000倍(収穫前日まで)または、ス ^レ ノエス顆粒水和剤(0)2,500倍(収穫7日前3回)を散布する。		
12月下旬			フォース粒剤(1)	9kg/10a 播種時1回	キジノミハシ			
1月上旬			初サレシチュウ防除に ・D-D(1) (20kg/10aは種の10~15日前) または ・ネマトリンエース粒剤(1) (播種時20kg/10a)					
中旬								
下旬								
2月上旬								
中旬								
下旬								
3月上旬					ハチハチ乳剤(1)		2,000倍 収穫30日前1回以内	アブラムシ類 コガアトムシ
中旬					アフーム乳剤(1)		1,000倍 収穫7日前3回以内	コガアトムシ
下旬			プレバソフアブル5(1)	2,000倍 収穫前日3回以内	コガ			
4月上旬			ダントツ水溶剤(1)	2,000倍 収穫7日前2回以内	アブラムシ類			
中旬			ベネビアOD(1)	2,000倍 収穫前日3回以内	コガ・ヨトウムシ アブラムシ類 ハダニ類			
下旬	↑ 収穫 ↓		プロフレアSC(1)	2,000倍 収穫前日3回以内	ちょう目・ハムシ専門剤	収穫後、作物残渣はきれいに処理して病害虫の発生源をなくす。		
5月上旬								
中旬								

☆みんなで守ろう生産基準